Ⅴ　玄海原子力発電所周辺環境調査計画

＜令和８年度＞

Ⅴ　目　次

Ⅴ－Ⅰ　玄海原子力発電所周辺環境放射能調査計画＜令和８年度＞‥ Ⅴ－１

Ⅴ－Ⅱ　温排水影響調査計画（県実施分）＜令和８年度＞‥‥‥‥‥‥‥‥ Ⅴ－19

Ⅴ－Ⅲ　温排水影響調査計画（九州電力実施分）＜令和８年度＞‥‥‥ Ⅴ－23

Ⅴ－Ⅰ　玄海原子力発電所周辺環境放射能調査計画

＜令和８年度＞

Ⅰ　佐賀県

1　空間放射線

a　モニタリングポスト

測定項目	測定方法等	頻度	測定機器	地点名	地点図
空間放射線量率	モニタリングポスト（テレメータシステム）	連続	NaI（Tl）シンチレーション式検出器 電離箱式検出器	今村局	図1
				平尾局	
				串局	
				先部局	
				外津浦局	
				京泊先局	
			電離箱式検出器	屋形石局	
				大良局	
				諸浦局	
				入野局	
				寺浦局	
				名護屋局	
				石室局	
				加倉局	
				呼子局	
				波多津局	
				相知局	
				松浦局	
			Si 半導体式検出器	馬渡島局	
				加唐島局	
				向島局	
				小川島局	
				二タ子局	
				山本局	
				田野局	
				立花局	

b　走行サーベイ

測定項目	測定方法	頻度	測定機器	測定範囲（図4）	測定時期
空間放射線量率	走行サーベイ車（可搬型測定器）	3ルート/四半期（計 12 ルート）	CsI（Tl）シンチレーション式検出器	発電所から5km～30km	毎四半期

2　環境試料中の放射能

測定試料		頻度	試料名	地点名（図2、図3）	採取時期（四半期）				核種分析				
					1	2	3	4	γ※1	^{131}I	^{90}Sr	^{3}H	Pu※2
農畜産物・植物	葉菜	年1回	たまねぎ	値賀	○				1				
				納所	○				1				
			きゃべつ	轟木			○		1	1			
	牛乳	年3回	牛乳	栄	○	○☆		○	3	3	1		
				田野	○	○		○	3	3			
	穀物	年1回	米	平尾		○			1	1			
				諸浦		○☆			1		1		
	指標生物	年1回	松葉	名護屋				○☆	1	1	1		
		年2回	杉葉	納所		○		○☆	2	2	1		
	その他	年1回	ばれいしょ	平尾	○				1				
				納所	○				1				
			みかん	平尾			○		1				
				串			○		1				
海産生物	魚	年2回	たい	発電所から10km圏内の海域		○	○		2				
			かわはぎ			○☆	○		2		1		
			えそ			○	○		2				
	無脊椎動物	年1回	なまこ	八田浦周辺				○☆	1		1		
	指標生物	年2回	ほんだわら類			○☆		○	2	2	1		
	その他	年1回	むらさきいんこがい			○			1				
水	陸水	年4回	水道水	値賀出張所	○☆	○	○	○	4	4	1	4	
		年1回	水道水	別表1	別表1				5	5	5	5	
		年2回	河川水	志礼川	○☆		○		2	2	1	2	
	海水	年1回	表層水	1、2号放水口付近		○☆			1	1	1	1	
				3、4号放水口付近		○☆			1	1	1	1	
				1、2号取水口付近				○☆	1	1	1	1	
				3、4号取水口付近				○☆	1	1	1	1	

※1　：ガンマ線放出核種として、^{60}Co、^{134}Cs 及び ^{137}Cs を測定
※2　：^{238}Pu 及び $^{239+240}$Pu を測定
○　　：核種分析の実施時期
○☆　：^{90}Sr を含む核種分析の実施時期

（続き）

測定試料		頻度	試料名	地点名 （図2、図3）	採取時期（四半期）				核種分析				
					1	2	3	4	γ ※1	^{131}I	^{90}Sr	^{3}H	Pu※2
土	土壌	年1回	表層土	串	○				1				
				九州電力値賀寮	○☆				1		1		
				別表 2	別表 2				10		10		1※3
	海底土	年1回	表層土	1、2号放水口付近		○☆			1		1		
				3、4号放水口付近		○☆			1		1		
				1、2号取水口付近				○☆	1		1		
				3、4号取水口付近				○☆	1		1		
計					—				59	28	33	15	1

※1 ：ガンマ線放出核種として、^{60}Co、^{134}Cs 及び ^{137}Cs を測定
※2 ：^{238}Pu 及び $^{239+240}$Pu を測定
※3 ：松浦局のみ測定
○ ：核種分析の実施時期
○☆ ：^{90}Sr を含む核種分析の実施時期

別表１　陸水（水道水）の採取地点（15 地点　令和６(2024)年度～令和８(2026)年度）

番号	地点名	調査年度	採取時期 (四半期)
1	楠(くす)浄水場	R6	1
2	瀬戸木場(せとこば)浄水場	R7	2
3	加唐島(かからしま)浄水場	R6	4
4	馬渡島(まだらしま)浄水場	R7	4
5	向島(むくしま)浄水場	R8	4
6	松島(まつしま)浄水場	R8	1
7	木場(こば)浄水場	R6	2
8	波瀬(はぜ)簡易水道	R6	3
9	東分(ひがしぶん)簡易水道	R6	3
10	城(じょう)簡易水道	R7	3
11	大久保(おおくぼ)簡易水道	R8	2
12	西大久保(にしおおくぼ)飲料水供給施設	R7	1
13	日南郷(ひなたごう)飲料水供給施設	R7	3
14	岩立(いわたて)飲料水供給施設	R8	3
15	田代(たしろ)飲料水供給施設	R8	3

別表２　土壌（表層土）の採取地点（50 地点　令和４(2022)年度～令和８(2026)年度）

番号	地点名	調査年度	採取時期(四半期)
1	屋形石局	R6	3
2	大良局	R5	3
3	諸浦局	R5	3
4	入野局	R5	2
5	寺浦局	R5	2
6	加倉局	R6	3
7	呼子局	R6	3
8	馬渡島局	R6	2
9	加唐島局	R6	2
10	向島局	R6	2
11	小川島局	R6	2
12	二タ子局	R7	3
13	山本局	R7	3
14	波多津局	R5	2
15	田野局	R5	2
16	相知局	R8	3
17	松浦局	R8	3
18	立花局	R4	2
19	轟木公民館	R5	3
20	佐志小学校	R7	3
21	唐津第一中学校	R7	3
22	鏡山小学校	R7	2
23	ひれふりランド	R7	2
24	切木小学校	R5	2
25	竹木場小学校	R5	3

番号	地点名	調査年度	採取時期(四半期)
26	旧半田児童館	R7	2
27	唐津市浜玉林業構造改善センター	R7	2
28	池原集会所	R8	2
29	七山小中学校	R7	2
30	北波多浄水場跡	R5	3
31	佐里地区公民館	R8	3
32	旧田頭小学校	R8	2
33	旧厳木小学校広川分校	R8	2
34	平山地区公民館	R8	2
35	旧厳木小学校	R8	2
36	ｽﾎﾟｰﾂﾗﾝﾄﾞ馬渡	R6	2
37	松島	R6	3
38	旧神集島小学校	R6	3
39	高島公民館前	R7	3
40	黒川ｺﾐｭﾆﾃｨｾﾝﾀｰ	R4	3
41	南波多ｺﾐｭﾆﾃｨｾﾝﾀｰ	R4	3
42	大川運動広場	R8	3
43	牧島ｺﾐｭﾆﾃｨｾﾝﾀｰ	R4	3
44	大坪ｺﾐｭﾆﾃｨｾﾝﾀｰ	R4	3
45	松浦運動広場	R8	3
46	山代ｺﾐｭﾆﾃｨｾﾝﾀｰ	R4	2
47	東山代ｺﾐｭﾆﾃｨｾﾝﾀｰ	R4	2
48	旧滝野小中学校	R4	2
49	二里ｺﾐｭﾆﾃｨｾﾝﾀｰ	R4	2
50	大川内ｺﾐｭﾆﾃｨｾﾝﾀｰ	R4	3

3　大気浮遊じん中の放射能

測定核種	測定方法等	頻度	測定機器	地点名	地点図
^{60}Co ^{134}Cs ^{137}Cs	ダストサンプラで連続捕集し、回収した試料（ろ紙）を灰化後、測定	月1回	Ge 半導体検出器 （環境センター内設置）	今村（いまむら）局	図4
^{131}I	ヨウ素サンプラで捕集し、回収した捕集材を測定	年1回	Ge 半導体検出器 （環境センター内設置）	9地点 （別表3）	図4

別表３　大気浮遊じん中の ^{131}I 採取地点（県：26 地点　令和６(2024)年度～令和 12(2030)年度）

番号	地点名(地点)	調査年度						
		R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
1	今村(いまむら)局	○	○	○	○	○	○	○
2	平尾(ひらお)局						○	
3	串(くし)局			○				
4	先部(さくべ)局	○						
5	外津浦(ほかわづうら)局					○		
6	京泊先(きょうどまりさき)局							○
7	屋形石(やかたいし)局					○		
8	大良(だいら)局	○						
9	諸浦(もろうら)局		○					
10	入野(いりの)局				○			
11	寺浦(てらうら)局			○				
12	名護屋(なごや)局		○					
13	石室(いしむろ)局				○			
14	加倉(かくら)局						○	
15	呼子(よぶこ)局				○			
16	馬渡島(まだらしま)局						○	
17	加唐島(かからしま)局							○
18	向島(むくしま)局					○		
19	小川島(おがわじま)局	○	○	○	○	○	○	○
20	二タ子(ふたご)局	○	○	○	○	○	○	○
21	山本(やまもと)局			○				
22	波多津(はたつ)局	○	○	○	○	○	○	○
23	田野(たの)局		○					
24	相知(おうち)局	○	○	○	○	○	○	○
25	松浦(まつうら)局	○						
26	立花(たちばな)局	○	○	○	○	○	○	○

Ⅱ　九州電力

1　空間放射線

a　モニタリングポスト、放水口モニタ

測定項目	測定方法等	頻度	測定機器	地点名	地点図
空間放射線量率	モニタリングポスト（テレメータシステム）	連続	NaI(Tl)シンチレーション式検出器	正門南局	図1
				岸壁局	
				値賀崎（ちかざき）局	
				ダム南局	
放水口計数率	放水口モニタ（テレメータシステム）	連続	NaI(Tl)シンチレーション式検出器	1、2 号放水口	
				3 号放水口	
				4 号放水口	

b　走行サーベイ

測定項目	測定方法	頻度	測定機器	測定範囲（図4）	測定時期
空間放射線量率	モニタリングカー	年2回（1ルート）	NaI(Tl)シンチレーション式検出器	発電所から5km 未満	第1四半期 第3四半期

2　環境試料中の放射能

測定試料		頻度	試料名	地点名（図2、図3）	採取時期（四半期）				核種分析			
					1	2	3	4	γ※	^{131}I	^{90}Sr	^{3}H
農畜産物・植物	葉菜	年3回	ほうれん草	今村（いまむら）	○		○	○☆	3	3	1	
	牛乳	年4回	牛乳	浜野浦（はまのうら）	○	○	○☆	○	4	4	1	
	穀物	年1回	米	普恩寺（ふおんじ）			○☆		1	1	1	
				下宮（しもみや）			○		1			
	指標生物	年4回	松葉	敷地内	○☆	○	○	○	4	4	1	
	その他	年1回	かんしょ	普恩寺（ふおんじ）			○☆		1		1	
				今村（いまむら）			○		1			
海産生物	魚	年2回	たい	発電所から10km圏内の海域	○		○☆		2		1	
	無脊椎動物	年2回	いか		○		○		2			
		年1回	さざえ	八田浦周辺（はったうら）			○		1			
			なまこ					○☆	1		1	
	海藻類	年1回	わかめ		○☆				1	1	1	
	指標生物	年2回	ほんだわら類		○☆		○		2	2	1	
水	陸水	年4回	河川水	志礼川（しれがわ）	○	○★	○	○☆★	4	4	1	2
		年2回	ダム水	敷地内		○★		○☆★	2	2	1	2
	海水	年4回	表層水	1、2号放水口付近	○☆★	○	○★	○	4	4	1	2
				3、4号放水口付近	○★	○	○☆★	○	4	4	1	2
				1、2号取水口付近	○☆★	○	○★	○	4	4	1	2
				3、4号取水口付近	○★	○	○☆★	○	4	4	1	2
土	土壌	年2回	表層土	岸壁側	○		○		2			
				正門南	○☆		○		2		1	
		年1回	表層土	九州電力今村寮（いまむら）	○☆				1		1	
		年2回	ダム底土	敷地内	○☆		○		2		1	
	海底土	年2回	表層土	1、2号放水口付近		○☆		○	2		1	
				3、4号放水口付近		○☆		○	2		1	
				1、2号取水口付近		○☆		○	2		1	
				3、4号取水口付近		○☆		○	2		1	
計					—				61	37	22	12

※　：ガンマ線放出核種として、^{60}Co、^{134}Cs 及び ^{137}Cs を測定
○　：核種分析の実施時期
○☆　：^{90}Sr を含む核種分析の実施時期
○★　：^{3}H を含む核種分析の実施時期

3　大気浮遊じん中の放射能

測定核種	測定方法等	頻度	測定機器	地点名	地点図
^{60}Co ^{134}Cs ^{137}Cs	ダストサンプラで連続捕集し、回収した試料（ろ紙）を灰化後、測定	四半期1回	Ge 半導体検出器 （発電所内設置）	正門南局	図4
^{131}I	ヨウ素サンプラ及びヨウ素モニタで捕集、測定 （ﾓﾆﾀﾘﾝｸﾞｶｰ）	年1回	ヨウ素モニタ （ﾓﾆﾀﾘﾝｸﾞｶｰ内設置）	10 地点 （別表4）	

別表４　大気浮遊じん中の ^{131}I 採取地点（九州電力）

番号	地点名（地点）
1	発電所口（玄海町大字今村）
2	串崎（唐津市鎮西町）
3	外津（玄海町大字今村）
4	普恩寺（玄海町大字普恩寺）
5	串公民館（唐津市鎮西町）
6	今村交差点（玄海町大字今村）
7	串浦（唐津市鎮西町）
8	値賀取水場（玄海町大字今村）
9	名護屋南（唐津市鎮西町）
10	玄海町値賀出張所（玄海町大字平尾）

Ⅲ 測定方法及び測定機器

調査項目 ＼ 調査機関		測定法	測定器	
			佐賀県	九州電力
空間放射線	空間放射線量率（モニタリングポスト） 放水口計数率（放水口モニタ）	固定型モニタリングポスト（県・九電）、放水口モニタ（九電）による連続測定（テレメータシステム） 「連続モニタによる環境γ線測定法」（平成29年改訂 原子力規制庁）に準ずる。	NaI(Tl)シンチレーション式検出器 3″φ×3″円柱型 （温度補償・ｴﾈﾙｷﾞｰ補償回路付） 日立アロカメディカル （多重波高分析器付） MSR-R69-22234 電離箱式検出器 14L 球形加圧型（N_2＋Ar ガス） 日立アロカメディカル MSR-R69-21090R1 MSR-R69-22205 Si 半導体式検出器 富士電機 検出部：NLF-TA7D4901C01 測定部：NLF-TA7D4900C01	NaI(Tl)シンチレーション式検出器 2″φ×2″円柱型 （温度補償・ｴﾈﾙｷﾞｰ補償回路付） 富士電機 NDS3AAA2-BYYYY-S NaI(Tl)シンチレーション式検出器 3″φ×3″円柱型 富士電機 N16E-116 NaI(Tl)シンチレーション式検出器 3″φ×3″円柱型 （温度補償回路付） 日立製作所 ADP-1132
	空間放射線量率（走行サーベイ車、モニタリングカー）	車載型検出器による連続走行測定 「連続モニタによる環境γ線測定法」（平成29年改訂 原子力規制庁）に準ずる。	CsI(Tl)シンチレーション式検出器 松浦電弘社 MAC-2531	NaI(Tl)シンチレーション式検出器 3″φ×3″円柱型 （温度補償・ｴﾈﾙｷﾞｰ補償回路付） 日立製作所 ADP-1132
環境試料中の放射能	ガンマ線放出核種 ・^{60}Co ・^{131}I ・^{134}Cs ・^{137}Cs	「ゲルマニウム半導体検出器によるガンマ線スペクトロメトリー」（令和2年改訂 原子力規制庁）及び「放射性ヨウ素分析法」（平成8年改訂 文部科学省）に準ずる。	高純度ゲルマニウム半導体検出器 オルテック GEM30-70-LB-C-HJ 多重波高分析器 セイコー・イージーアンドジー MCA-7a	高純度ゲルマニウム半導体検出器 キャンベラジャパン GC3018 多重波高分析器 セイコー・イージーアンドジー MCA-7a
	ストロンチウム90（^{90}Sr）	「放射性ストロンチウム分析法」（令和7年改訂 原子力規制庁）に準ずる。	低バックグラウンド放射能自動測定装置 日立製作所 LBC-4502	低バックグラウンド放射能自動測定装置 日立製作所 LBC-4602
	トリチウム（^{3}H）	「トリチウム分析法」（令和5年改訂 原子力規制庁）に準ずる。	低バックグラウンド液体シンチレーション計数装置 日立製作所 LSC-LB7	低バックグラウンド液体シンチレーション計数装置 日立製作所 LSC-LB8

（注）メーカ名は購入時。

（続き）

調査項目＼調査機関		測　定　法	測　定　器	
			佐　賀　県	九　州　電　力
大気浮遊じん中の放射能	ガンマ線放出核種 ・^{60}Co ・^{134}Cs ・^{137}Cs	・捕集 県：ダストサンプラで1か月吸引し、ろ紙上に捕集後灰化 九電：エアーサンプラで3か月吸引し、ろ紙上に捕集後灰化 ・測定 環境試料中の放射能−ガンマ線放出核種と同様	・捕集 ダストサンプラ アロカ MDR-69AB00001297 ・測定 高純度ゲルマニウム半導体検出器 オルテック GEM30-70-LB-C-HJ 多重波高分析器 セイコー・イージーアンドジー MCA-7a	・捕集 ダストサンプラ 富士電機 NAD-TA7C5463C01 ・測定 高純度ゲルマニウム半導体検出器 キャンベラジャパン GC3018 多重波高分析器 セイコー・イージーアンドジー MCA-7a
	放射性ヨウ素 ・^{131}I （固定型ヨウ素サンプラ、可搬型ヨウ素サンプラ、モニタリングカー）	「緊急時における放射性ヨウ素測定法」（令和5年改訂 原子力規制庁）に準ずる。	・捕集 ヨウ素サンプラ アロカ DSM-1401BU1R1 富士電機 NAL-TA7C3413C01 アロカ DSM-R60 ・測定 高純度ゲルマニウム半導体検出器 オルテック GEM30-70-LB-C-HJ 多重波高分析器 セイコー・イージーアンドジー MCA-7a	・捕集 ヨウ素サンプラ 日立製作所 DSM-362BU3R1 ・測定 ヨウ素モニタ NaI(Tl)シンチレーション式検出器 2″φ×2″円柱型 日立製作所 ADP-1122

（注）メーカ名は購入時。

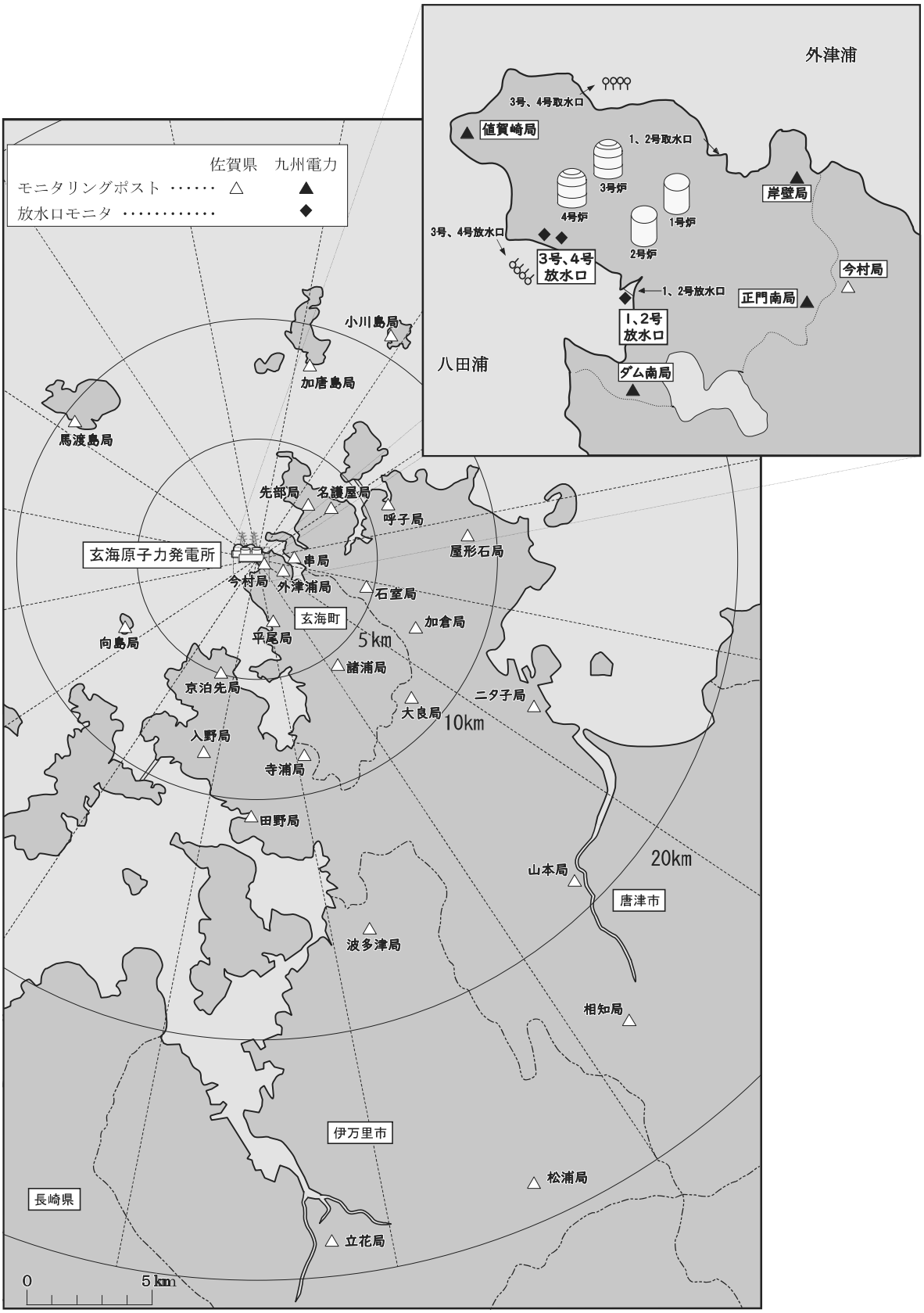


図１　空間放射線測定地点

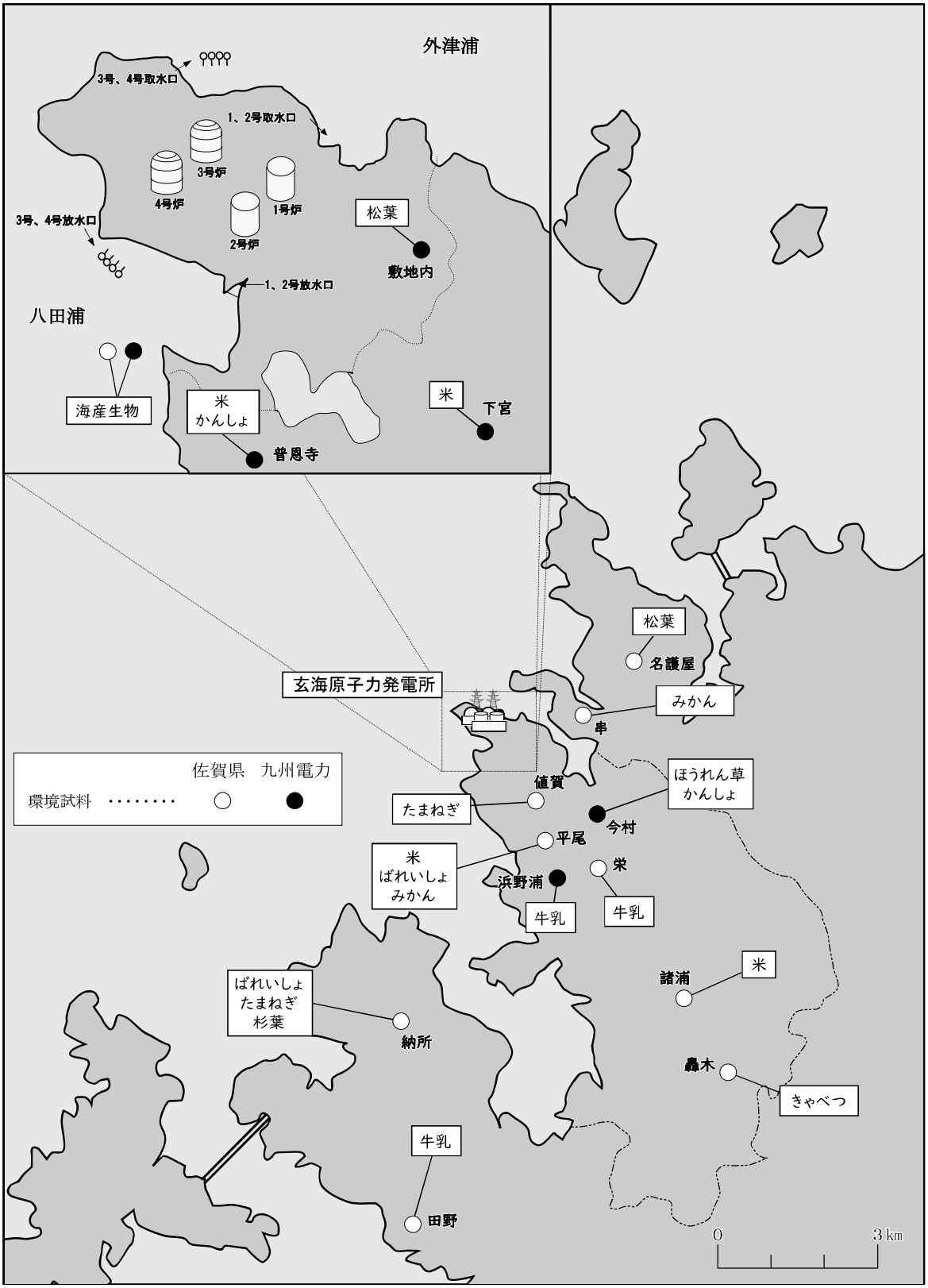


図２　環境試料採取地点（農畜産物・植物、海産生物）

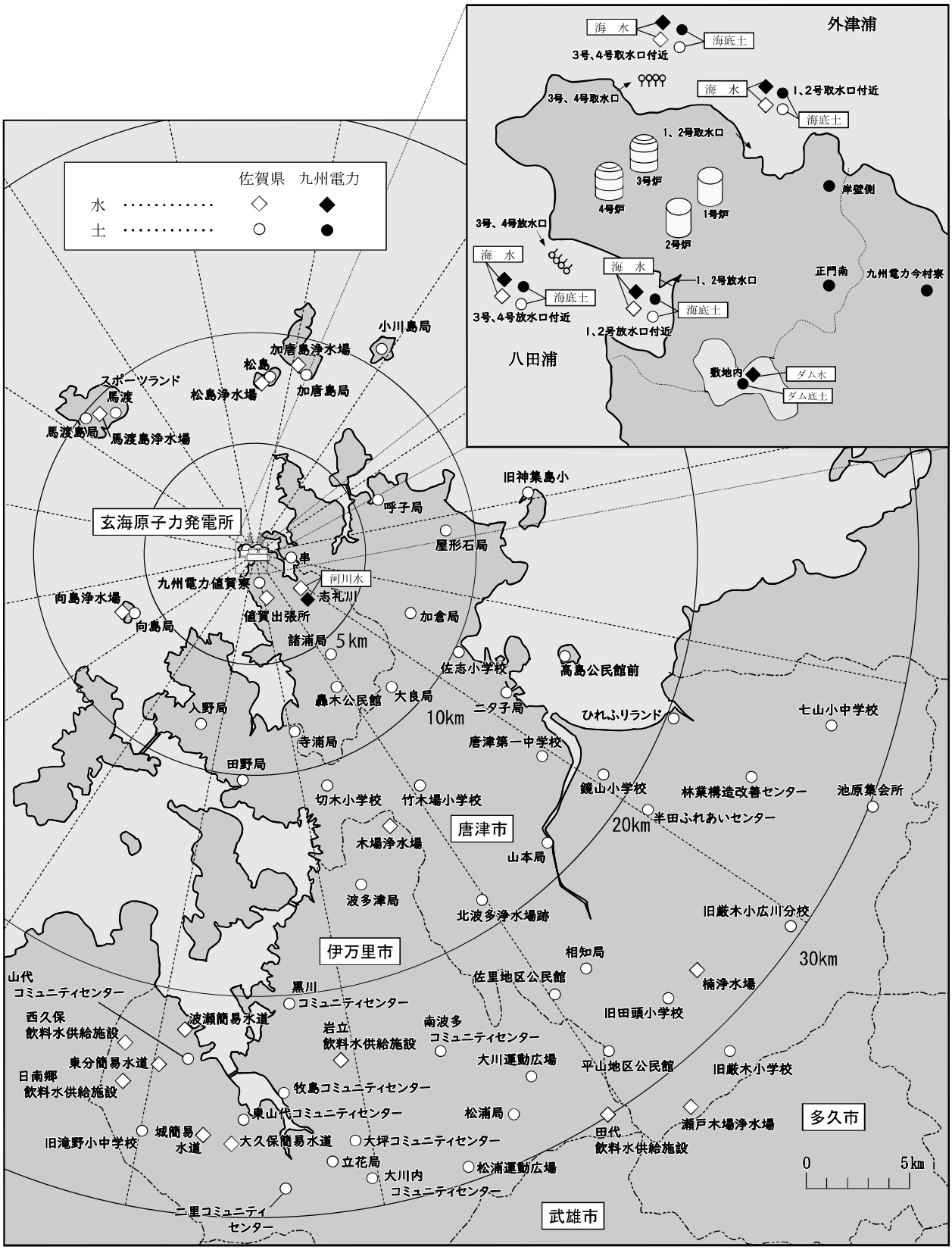


図３　環境試料採取地点（水、土）

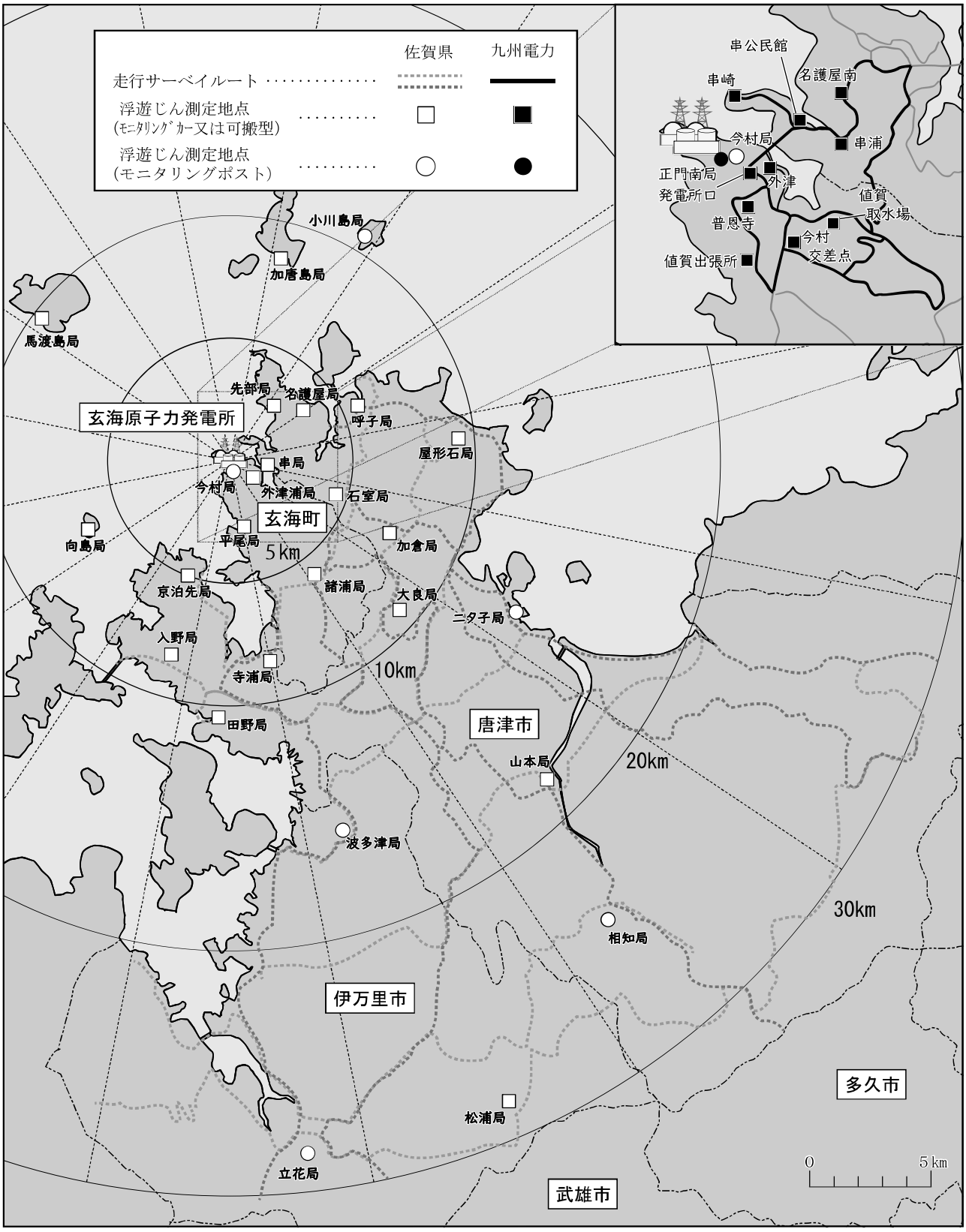


図４　空間放射線等測定地点（走行サーベイ、大気浮遊じん）

Ⅴ－Ⅱ　温排水影響調査計画（県実施分）

＜令和８年度＞

令和8年度調査計画

項　目	調査月	内　容	調査回数	点数	観　測　層	調査方法および使用機器
拡散調査	夏季 冬季	水温 塩分	2	74	水温 0.3(表層),1,2, 3,4,5,7,10,15,20m 塩分 0.3(表層)m	・水温、塩分:多項目水質計による現場測定 (JFEアドバンテック社　ASTD102)
流動調査	夏季	流向 流速	1	5	0.3(表層),5,10, B-1(底層)m	・流向・流速計による現場測定 (JFEアドバンテック社　AEM213-D)
水質調査	夏季 冬季	水温 pH DO 濁度 ｸﾛﾛﾌｨﾙｰa	2	5	0.3(表層),5,10, B-1(底層)m	・ナンセン転倒採水器による採水 ・水温、DO、濁度:多項目水質計による現場測定 (JFEアドバンテック社　ASTD102) ・pH:卓上測定器による測定 (HORIBA社 卓上pH計) ・クロロフィルーa:蛍光法
底質・底生生物調査	夏季	粒度組成 COD ベントス	1	10	海底土	・スミス・マッキンタイヤ採泥器による採泥 ・粒度組成:ふるい分け法、沈殿分析法 ・COD:アルカリ法 ・ベントス:マクロベントスについて同定・計数
付着生物調査	夏季 冬季	動物 植物	2	10	潮間帯	・ベルトトランセクト法 岸側各点から海方向にメジャーを伸ばし、1.5m毎に50cm枠中の種類，数量(被度)を調査

※付着生物調査は、民間業者へ委託

※夏季(7～9 月)、冬季(1～3 月)

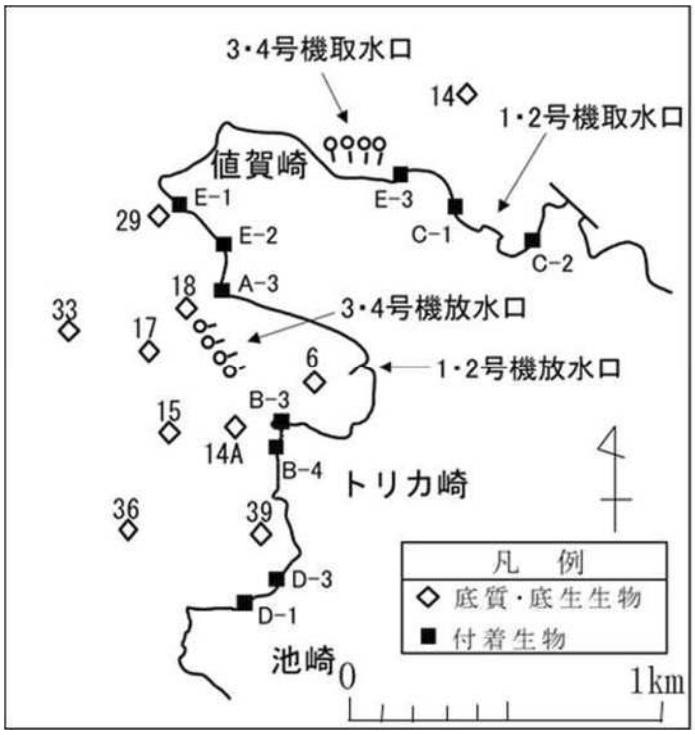


図1　調査点-1 （底質・底生生物調査、付着生物調査）

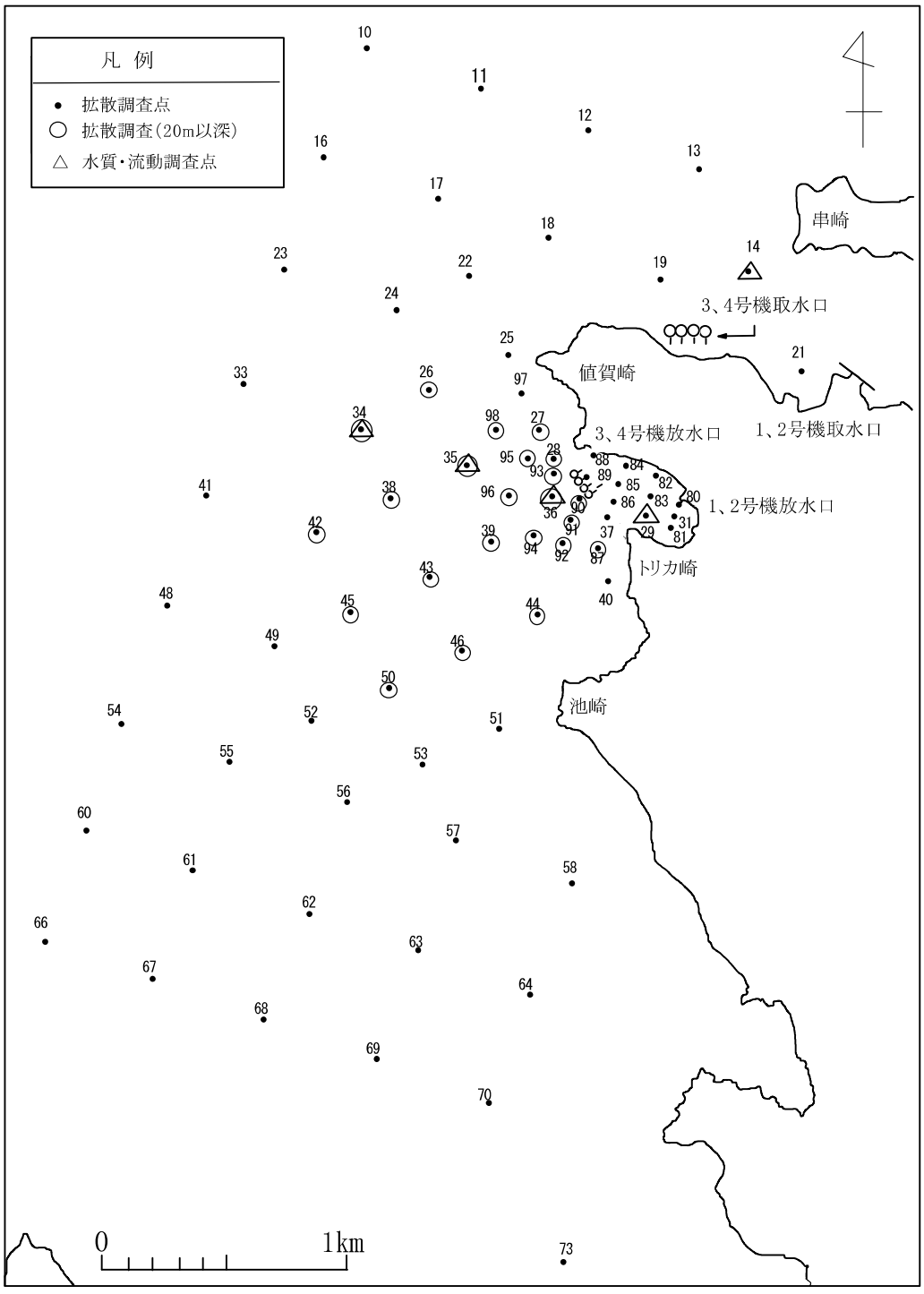


図２　調査点-2 （拡散調査、流動調査、水質調査）

Ⅴ－Ⅲ　温排水影響調査計画（九州電力実施分）

＜令和８年度＞

項　　目	調査頻度	調　　査　　内　　容	備　考
流　　況	年２回	電磁流速計による定点流況連続測定 ・５測点：海面下２ｍの１層　（測点については第１図参照）	・調査時期:夏季、冬季 ・15日間連続測定
水　　温	年４回	曳航式水温塩分測定装置による連続測定 ・水平分布　16測線：海面下0.3、１、２、３ｍの４層 多項目水質計による測定 ・鉛直分布　38測点：海面下0.3、１～10mは１ｍ間隔、 10m以深は５ｍ間隔、最深は海底上１ｍ （測線及び測点については第１図参照）	
水　　質	同　上	バンドーン採水器による採水 ・７測点　５測点：海面下0.5、３、８、20ｍの４層 ２測点：海面下0.5、３、８ｍまたは海底上１ｍの３層 （分析項目等及び測点については表－１、第２図参照）	
底　　質	年２回	スミス・マッキンタイヤ採泥器による採泥 ・７測点　（分析項目等及び測点については表－２、第２図参照）	・調査時期:夏季、冬季
ﾌﾟﾗﾝｸﾄﾝ	同　上	動物プランクトン 北原式閉鎖型定量ネットによる採集 植物プランクトン バンドーン採水器による採集（採水後、沈殿し採集） ・７測点　５測点：植物　海面下0.5、３、８、15ｍの４層 動物　海面下０～10、10～20ｍの２層 ２測点：植物　海面下0.5、３、８ｍまたは海底上１ｍの３層 動物　海面下０～10ｍまたは海面下０ｍ～海底上１ｍの１層 （分析項目等及び測点については表－３、第２図参照）	同　上
潮間帯生物	同　上	ベルトトランセクト法による観察 ・９測点　（観察方法及び測点については表－４、第２図参照）	同　上

※全調査項目を民間業者へ委託

表－１　水　質

項　　目	内　　容		
測　　点	７測点　（第２図）		
採 水 層	海面下 0.5、３、８、20mの４層 ただし、放水口周辺の２測点は、海面下 0.5、３、８ｍ（８ｍ以浅の場合は海底上１ｍ）の３層		
分析項目及び分析方法	分　析　項　目	分　　析　　方　　法	出　　典
	水　　温	電気伝導度水温水深計による測定	海洋観測指針 (1999)
	塩　　分	サリノメーター法	海洋観測指針 (1999)
	水素イオン濃度 （ｐＨ）	ガラス電極法	昭和 46 年　環境庁告示第 59 号 (JIS K 0102-1-2023)
	溶 存 酸 素 量 （ＤＯ）	よう素滴定法	昭和 46 年　環境庁告示第 59 号 (JIS K 0102-1-2023)
	化学的酸素要求量 （ＣＯＤ） (ｱﾙｶﾘ性法)	アルカリ性過マンガン酸カリウムによる酸素消費量	JIS K 0102-1-2023
	濁　　度	カオリン標準溶液による吸光光度法	JIS K 0102-1-2023
	ｸﾛﾛﾌｨﾙ－ａ	ユネスコ法による吸光光度法	海洋観測指針 (1996)

表－２　底　質

項　　目	内　　容		
測　　点	７測点　（第２図）		
分析項目及び分析方法	分　析　項　目	分　　析　　方　　法	出　　典
	化学的酸素要求量 （ＣＯＤ）	過マンガン酸カリウムによる 酸素消費量	平成 24 年 環水大水発 120725002 号
	粒　　度	ふるい分け及び沈降法	JIS A 1204-2020

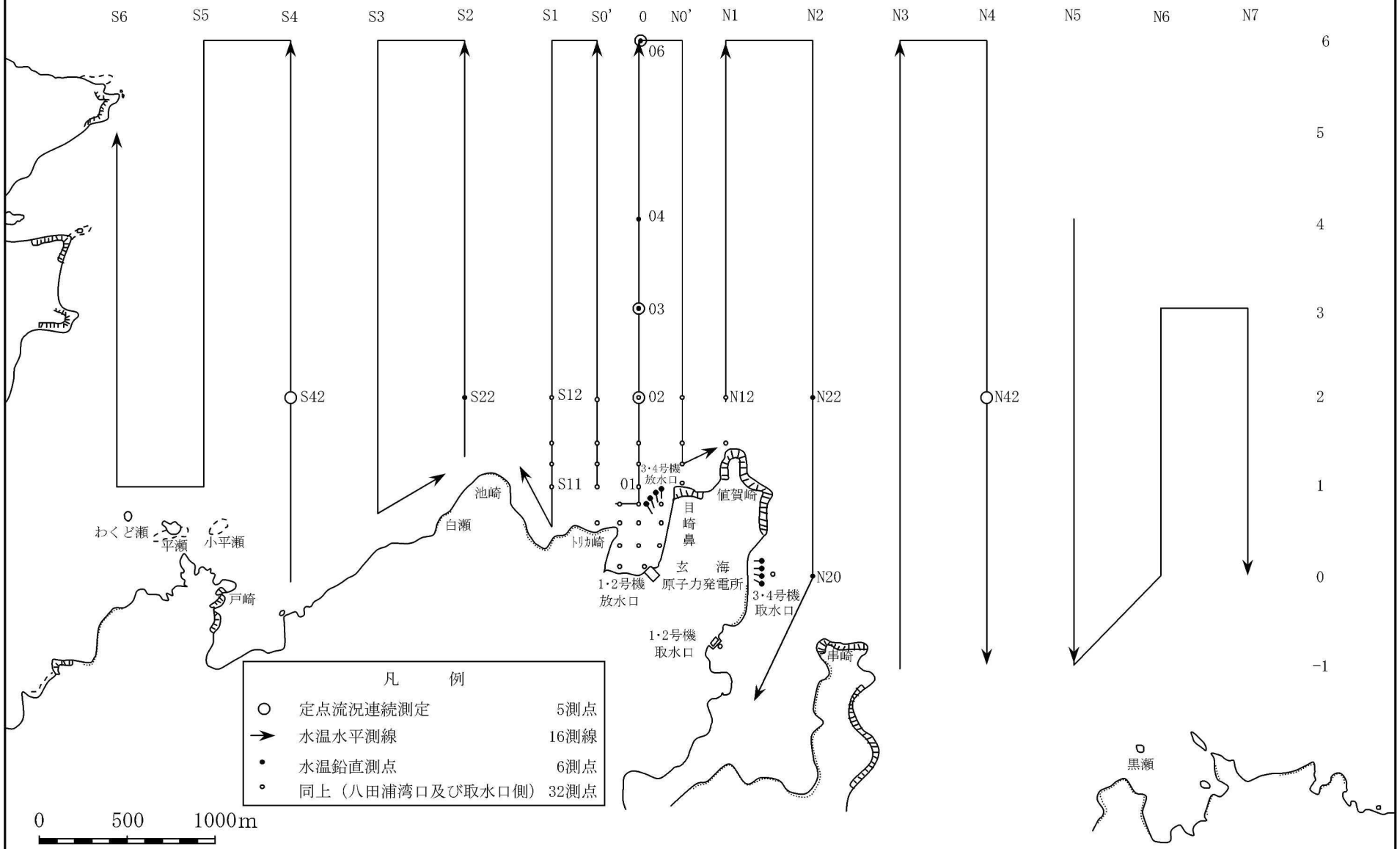
表－３　プランクトン

項　　目	内　　容	
測　　点	７測点　（第２図）	
調査項目	動物プランクトン	植物プランクトン
採集器	北原式閉鎖型定量ネット ＮＸＸ１３	バンドーン採水器
採集層	海面下０～10、10～20ｍの２層 ただし、放水口周辺の２測点については、海面下０～10ｍ（10ｍ以浅の場合は海面下０～海底上１ｍ）の１層	海面下0.5、３、８、15ｍの４層 ただし、放水口周辺の２測点については、海面下0.5、３、８ｍ（８ｍ以浅の場合は海底上１ｍ）の３層
採集法	ネットの鉛直曳網による方法	10ℓ 採水による方法
試料保存	ホルマリン固定	ホルマリン固定
分析項目	沈殿量（mℓ ／m^3） 種の同定と計数（個体／m^3）	沈殿量（mℓ ／m^3） 種の同定と計数（細胞／ℓ ）

表－４　潮間帯生物

項　　目	内　　容
測　　点	９測点　（第２図）
観察方法	ベルトトランセクト法 岸側から海方向にメジャーを伸ばして、方形枠（50cm×50cm）を原則として連続的に設定し、各枠内の出現種を調査 単位：個体／0.25m^2または被度（％）

第１図　周辺海域環境調査測定点位置図
（流況、水温調査）



第２図　周辺海域環境調査測定点位置図
（水質、底質、プランクトン、潮間帯生物調査）

